

組NEWS合

発行：金沢大学教職員組合執行委員会
住所：金沢市角間町 角間内線 2105
直通電話(076)262-6009 (FAX同じ)
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ http://www.ku-union.org/

2007年10月 4日

通巻 1070号

この号の内容

当面の重点課題に関し申し入れ	P 1
第64回定期大会案内	P 1
全大教第19回教研集会報告	P 2
角間北支部委員長挨拶	P 2
病院協議会総会に参加して	P 3
染谷知子さん独唱会のご案内	P 3
他大学から・教職員共済から	P 4

金沢大学教職員組合は、10月1日、この秋から来春にかけて、教職員の働く条件や環境形成にとって重大と思われるいくつかの問題に関し、組合としての要望事項を示し、大学としての見解と対応を求め、以下の内容で要望書を提出しました。

組合では、早急に交渉の場を設定し、回答することを求めています。

第64回定期大会案内

10月27日(土) 13:00~16:00
角間法経棟2階A201号教室

代議員の参加をお願いいたします。オブザーバーも大歓迎。ご希望の方はご連絡下さい。

当面の重点要求課題に関する交渉の申し入れについて

前年度より継続課題となっているパートタイム職員に対するボーナス支給、および人勤のプラス勧告に対する本大学の対応、2007年度よりすでに実施されている「職員給与の評価と査定昇給」の詳細、病院における「7:1看護」の実施問題、職員の多忙化問題および今後5年間で5%の人件費削減と、多くの課題があります。金沢大学で働く私たち教職員にとって、深刻な問題であるため、ここに以下の要求で交渉を申し入れます。いずれの懸案事項についても、早急に対応を要望します。



1. 12月期末・勤勉手当の改善と、パート職員に対するボーナス支給等について

このたび出された人事院勧告では、国家公務員と民間の格差について指摘していますが、このままでは本学教職員と民間の格差もますます広がってしまうことを強く危惧し、格差是正のための改善の処置を講ずることを求めます。

また、今年12月にパートタイム職員へボーナスを支給することを要求します。

2. 2007年1月1日からの評価基準の内容について

2007年1月1日付けで特定管理職(教授含む)の査定昇給評価に続き、さらに2008年1月1日からは一般職員への実施を予定していると聞いています。その実施にあたって、金沢大学の査定昇給、評価に関する基準や査定方法について具体的に明らかにすることを要求します。

3. 附属病院の「7:1看護」の実施について

附属病院の看護師の労働環境はきわめて劣悪であり、(安全安心の医療実現とともに、職場環境改善のためにも)教職員組合としては「7:1看護」の実施を望むものである。しかし、新規に180名を採用できる見込みやその後の新人研修の

計画や勤務体制がどのように変化するかなど全く具体的な計画が明らかになっていません。現在の看護師がこれ以上の負担にならないよう計画的な「7:1看護」実施を要求します。

4. 学長選について

大学構成員の多数意思を反映した公明正大な学長選挙を望みます。また、選出のプロセスの透明性と公開性を要求します。

5. 冬季手当の新設を求めます

寒冷地手当の廃止にかわる冬季手当の実現を求めます。

6. 職員の健康管理と業務の均等化について

学域体制移行に伴い、大学構成員の忙しさは度を超えています。特に教員は裁量労働制になり、事実上のサービス残業になっていることは否めません。多忙化対策の第一歩として、身体面だけでなくメンタルヘルスの観点からの教職員の健康調査を行って実態把握をするとともに、一部の教職員のみならず仕事が集中することのないよう業務を均等化するよう工夫するなど、大学構成員が過度な労働環境下に置かれないような職場環境の整備を要求します。

第19回教職員研究集会 (於 京都大学)

65大学300名が、大学の厳しい状況と諸活動を交流

9月22～24日の3日間、京都大学を会場に、全大教（全国大学高専教職員組合）の第19回教職員研究集会が開催され、全国から300名の組合員が集まり、現在の大学が置かれている厳しい状況と、各単位組合がどう格闘しているかが報告され、熱心な討議がかわされました。金沢大学からは、上條さん（経済学部、前副委員長）、山上さん（工学部、前書記長）、名古屋さん（法学部、現委員長）、武居さん（教育学部、現書記長）、私の5人が参加してきました。

開会集会での記念講演は、全大教教研集会としては異例の、三重県津市市長の松田直久さんでした。今年、政府の経済財政諮問会議が国立大学運営費交付金の競争資金化を打ち出した際、松田市長は全国の自治体首長としていち早く、「地方における知の拠点としての国立大学の果たす役割を十分に勘案してほしい」と、事実上、諮問会議の方針に真っ向から異を唱えた人です。別に、いわゆる「革新」系市長さんではありません。松田市長は、春の亀山地震を機に、三重大学の地

質学研究室と地震防災で協力することができ、国立大学の存在感を実感したことを紹介されました。

2日目の分科会、私はA1（大学における教育実践）に参加して、自分自身の、社会科教育法の講義における工夫をレポートしました。さらに3日目の分科会ではB2（地方大学の危機と役割）に参加、各地方大学の取り組みのレポートを聞いてきました。とくに各地の教育学部の危機意識は

相当なものでした。現在は、団塊世代の教員の大量退職というバブルのおかげで遠山プラン（教育学部の統合再編）はやや後景に退いていますが、10年後にはバブルは完全に終了、その後の教員需要は2度と回復せず、遠山プランがかならず復活する、しかし同時に教員免許の更新制により、毎年1

0万人の現職教員の更新講習を受け持たなければならない...という矛盾の激化が予想されるからです。

各組合の取り組みには励まされつつも、暗澹たる未来におののいたというのが率直な感想です。

村井淳志（教育学部）



角間北支部から

梅田 康夫（角間北支部・法学部）

角間北支部は、法文分会、教育分会、センター系分会が統合して3年前に発足した組織です。このたび年の功か、互選で執行委員長を仰せつかることになりました。今年還暦のいわゆる団塊世代です。

20数年前に郷里である当地に赴任した時と比べると、今、大学の中が驚くほどの変貌を示していることを日々痛感しています。テニスを趣味としていますが、あの頃の熱気と盛り上がりや嘘のようです。いろいろな要因がありますが、ともかくテニスどころではないのが現実でしょう。今年の春には、かつてよく一緒にテニスをした仲間を失いました。学内行政や地域貢献の仕事の負担が相当だったように思われます。

これまでも同世代の友人や同僚を失いましたが、彼らは自己の研究や生き甲斐に没頭する中でその生命を燃焼させたように思えました。明らかにその時期とは状況が異なっているようです。文化と科学を産出・発展させる坩堝としての大学が、いわばあそびのないハンドルのように余裕のないまま右に左に急旋回しているうちに、行くべき方向を見失ったままに空中分解してしまうのではないかと恐れています。

働く者の労働条件と職場環境の改善をめざす労働組合が、このような流れに棹さすことのできる現実的な組織として大いにその存在価値を高めることができればと、そのささやかな一助に加わることができればと思っています。



2007年病院協議会総会に参加して

9月8～9日東京で17組合の出席で総会が開かれ、「総会議案-06年度総括と07年度方針、私たちの要求」を全員一致で採択しました。

各大学からは、「7:1看護」が大きな話題となり、年休も「取れなくなった」(九大)「取りやすくなった」(名大)と大学により様々。移行した後も退職や不足が発生、外来看護師の病棟異動(神大)や来春も今年と同数募集(名大)等苦闘していたり、今春目指したが実施できず赤字の見込み(京大)などの報告がありました。しかし未実施の大学ではほとんど来春の実施を予定しており、夜勤の看護体制、宿舎の確保、新人教育等、具体的な内容が示されず不安が高まっていることなどが報告されました。

特に、夜勤の2交替制への移行を実施、又は予告されている病院もあり、その是非について熱心な討議が交わされました。「若い人に2交替が良いとの意見がある」との発言もありましたが、実施大学でも夜勤モニターで実態調査を進めたり、「ずっと働き続ける立場から安易に迎合すべきではない」「高度医療が求められる中、安全安心の看護からみて責任を持った看護ができるのか」「年休が取れないから夜勤の回数減らしたいというのが本音、むしろ年休取得できる条件整備を求めるべき」等の意見が強く出されました。

また、「新人がなかなか一人前になってくれない」「メンタル問題が増え、その対応のために担当副部長を採用した」と多くの新人対策に大変苦労している実態や、ある大学では師長が「増員の後は、結婚、妊娠のブームが来る。妊娠中の夜勤免除について希望されても対応できない」と明言、問題を投げかけているとの報告もありました。

組合員の拡大では、多くの大学で、新入職員オリエンテーションで組合説明を実施するようになっている報告が出されました。ただ、新人も早々に多忙な現場に投げ込まれ、加入看護師との接点がなかなか持てないとの共通の悩みがありました。

年休では昨年より取得日数を増やす約束をしている大学(北大、徳島大、東大)もある一方、計画年休には若手からは「師長の都合で年休が決まるなんておかしいよネ」との声も上がっているとの話が出されました。

その他、成果主義導入に対し反対の意見が多い(岡山大学)、看護師の勤務実態報告に対し「個人情報保護法」を理由に資料提示を拒んだ(東大)、看護師募集で日勤希望者の採用で外来配属者が強引に病棟配置にと心配の声(信州大)等が出されていました。

2日目に、日本医労連中央執行委員長の田中千恵子さんより「医療制度『改革』の動向と看護師増員闘争の到達点・今後の課題」と題した講演が行われました。

田中さんは、「社会不安や生命の危機が進行する中で、それを守らないといけない医療・介護が崩壊の危機に直面しており、多くの看護師自らが辞めたいと実感している。今働いている看護師で”私の病院は安心。是非来て下さい”と言える人がどれだけいるか。」と問いかけ、「安心安全の医療は医療労働者・労働組合の責務!」と全大教の取り組みに期待を表明しました。

また、先の参議院で組合が請願した「医師・看護師の増員」の決議が採択されたことの重要性にふれ、医療を再生させる国民的な新しい運動をはじめようと提案されたのが印象的でした。(A)

二〇〇七年 初秋
染谷知子



暑くて長かった夏もようやく秋に席を譲ろうとしております。四月から音楽教室にお世話になっている染谷知子です。毎日楽しく学生と音楽をさせて頂いています。教授会でのお話も山のようなメールも、音としては聞こえ文字では見ても内容はほとんど解らず申し訳なく情けない思いです。まるで『夕鶴鶴の恩返し』の”つづ”のような心境の毎日です。私にできることは歌うことしかありませんので、御礼とお詫ひの心をこめて、別紙のように小さな音楽会をさせていただく事にしました。皆様にはお忙しい折とは思いますが、お聴きいただけたら幸いです。ご案内まで。

染谷知子 Mini 独唱会 In 金沢

* **ピアノ 横山 舞**

「クラシックの歌の愛って・・・好き、むずかしいわ!」

「ザ・ヘルズ・エンジェルズ! 全部日本語だしっこでホッとしたり、楽しい曲もあるみたいヨ!」

「じゃ、行って来ようよ!」

I 懐かしい日本の歌
5曲の歌 あむてはな 他

II 歌物語
ほろすけのひよこ 中丸 由

III 木下牧子 歌曲集
「愛する歌」より
ロマンチストの眼 他

2007.10.17 (水) 16:30~17:30

教育学部 1F 音楽ホール 入場無料

お問い合わせ TEL. 076-264-5668 (奥2F)

他大学のニュース等から

東京大学で

「年収400万円未満の家庭の学生は授業料無料」の減免制度を導入

一般新聞の報道では、来年度導入のこの減免制度は国立大学では初めての取り組みとのこと。対象者は学部学生の1割を越すと見られています。

現在授業料は535,800円ですが、東大の奨学厚生グループ長は「所得の関係で受験をあきらめることの無いようにしたい」と説明、文部科学省の国立大学法人支援課は「1つの工夫として評価したい」とのコメントをしているそうです。

一方、毎日新聞は9月18日「無利子奨学金 - 申請急増、10万人の夢しばむ 成績上位者優先で生活保護世帯も涙」の記事で、日本学生支援機構(旧日本育英会)では月額6.4万円無利子貸与が申請が8万人(05年)から13万人(08年)に急増した

にもかかわらず、卒の3.4万人が据え置かれ、4人に3人が不採用になったことを報道しています。その中で、生活保護世帯の子弟も受けられない事態が発生していることを問題として提示しています。

9月18日の朝日新聞では、OECD(経済協力開発機構)加盟国の調査として「日本のGDP比の教育支出は下から5番目」と次のように報じています。

04年現在、国内総生産(GDP)比で見た場合、日本の公的教育支出は、26カ国中、ギリシャに次いで下から2番目、私的負担を加えても下から5番目。各国の教育費は95年からの10年で平均42%増えており、11%程度という日本の伸び率が今後とも変わらなければ、数年後に最下位になる恐れがある。

憲法の教育を受ける権利を守るためには、国の教育行政を改善していく取り組みとともに、各大学での創意工夫も大切ではないでしょうか??!!

あなたは、交通災害共済 一般傷害・個人賠償責任補償付 の補償内容をご存知ですか？



教職員共済

日常生活の中で起きる、こんなことやあんなことも、
交通災害共済に加入していれば補償されます！



おっと...

自転車で転んで骨折した

交通災害補償



ありやいや...

階段を踏み外してケガをした

一般傷害補償



うっそお...

買い物途中で、誤って商品を壊した

個人賠償責任補償

家族型

ご家族が何人いても掛金は一律！
組合員ご本人が加入されれば
家族全員が補償されます。

1口 10,130円 / 2口 19,980円

個人型

お一人おひとりの補償を自由に設計
組合員ご本人が加入されれば、配偶者・子ども・同居親族まで自由な口数で加入できます。

1口 1,270円 個人賠償責任補償分として、
組合員ご本人のみ別途290円の掛金が必要です。

申し込み期限は11月20日です。

金沢大学教職員組合 加入申込書

ふりがな _____ 申込日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名 _____ (男・女) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

部局名 _____ 職場 _____ 内線 _____

職種 _____

連絡先 電話 _____

E-mail _____ (職場・個人用)

記載された個人情報、組合が適切に管理し、組合員名簿に記載する他、組合からの各種ご案内に利用させていただきます